

## マシュマロ断熱(フォームライトSL)熱伝導率の取り扱いについて

平成 11 年省エネ基準(通称:次世代省エネ基準)に於いてはフォームライトSLの熱伝導率として **0.034(W/m・K)**を用いております。これは JIS A1420(A 1412 含む)建築用構成材の断熱材測定方法により測定したもので、フォームライトSLの熱伝導率としてご使用頂いております。

一方、昨年度より現場発泡ウレタンの認証受付が開始された EI 制度(優良断熱材制度)では JIS 製品については JIS 規格に準じた熱伝導率を用いて断熱性(熱抵抗値他)を表示することとなっております。フォームライトSLは JIS A 9526 A 種 3(熱伝導率 **0.040(W/m・K)**)であり、今後 EI マークの表示をする場合、熱伝導率は **0.040(W/m・K)**をご使用頂きますようお願いいたします。

### 【評価協“部位別仕様表 DB 付き外皮計算システムをご利用の方】

現在、弊社の方で一般社団法人住宅性能評価・表示協会の“部位別仕様表 DB 付き外皮計算システム”に登録中の部位別仕様表(以下リンク)では

<https://www2.hyoukakyokai.or.jp/gaiheisan/calc/login/>

熱伝導率 **0.036(W/m・K)** を使用しておりましたが、EI 制度と連動すべく現在、新たに熱伝導率 **0.040(W/m・K)** を使用し、更新作業を進めております。

更新作業が完了次第、仕様別の平均熱貫流率が更新されます。

更新作業に 1 ヶ月ほどかかりますので 4 月中旬目途に更新予定をしております。

尚、更新までは引き続き現在掲載のものをご使用いただけます。

平成 29 年 4 月

BASF INOAC ホリウレタン(株)

FS1 スプレー事業部